
News Release

2022 年 10 月 20 日

各 位

住友ファーマ株式会社

Lupin 社への「ブロバナ」および「ゾペネックス HFA」販売権譲渡に関するお知らせ

住友ファーマ株式会社(本社:大阪市、代表取締役社長:野村 博)の米国子会社であるサノビオン・ファーマシューティカルズ・インク(以下「サノビオン社」)は、このほど、米国において販売している慢性閉塞性肺疾患(COPD)治療剤「ブロバナ」(一般名:アルホモテロール酒石酸塩)および喘息治療剤「ゾペネックス HFA」(一般名:レバルブテロール酒石酸塩)の米国における販売権を Lupin Limited(本社:インド ムンバイ)に譲渡する契約(以下「本契約」)を締結しましたので、お知らせします。

本契約に基づき、サノビオン社は Lupin 社より、「ブロバナ」および「ゾペネックス HFA」の譲渡対価として、75 百万米ドル(約 112 億円※)を受け取ります。

当社グループは、今回の販売権譲渡により、経営リソースを中長期的な成長分野に戦略的に再配分し、収益性の改善を図ります。

当社は、譲渡完了を条件として、2023 年 3 月期第 3 四半期連結業績において、譲渡対価をその他収益(コア内)として計上する予定であり、2023 年 3 月期業績予想に織り込んでいます。

(ご参考)

「ブロバナ」について

「ブロバナ」は、慢性気管支炎および肺気腫を含む COPD による気道閉塞性障害に対する長期維持療法を目的に用いられる 1 日 2 回吸入の長時間作用型 β 作動薬です。ネブライザーにより投与されます。サノビオン社が開発し、2007 年に米国で発売しました。

「ゾペネックス HFA」について

「ゾペネックス HFA」は、可逆性の閉塞性気道疾患による気管支痙攣の治療または予防を目的に用いられる定量噴霧式の短時間作用型 β 作動薬です。サノビオン社が開発し、2005 年に米国で発売しました。

Lupin 社について

Lupin 社は、インドのムンバイに本社を置く、イノベーション主導型の多国籍製薬企業です。同社は、米国を含む 100 以上の市場において、幅広い先発医薬品および後発医薬品ならびにバイオテクノロジー製品や原薬の開発・商業化に取り組んでいます。詳しくは、www.lupin.com をご覧ください。

※1 米ドル=149.7 円で算定

以 上

○本件に関するお問い合わせ先

住友ファーマ株式会社 コーポレートコミュニケーション部
(大阪) TEL06-6203-1407 / (東京) TEL 03-5205-3725